

令和元年 行政書士試験 文章理解

担当 田島圭祐

1、文章理解に必要な力

- ・ 小手先の解法 o r 真の読解力
- ・ 語彙力を試している。

2、評論文には型がある。

- ・ 反復 (A \longrightarrow A)
- ・ 対比 (A \longleftrightarrow B)


3、令和元年の文章理解の傾向

- ・ 全て空所補充になった。では、3問ともに同じ力を問うている？
- ・ 評論文の型にはまる文章をあえて3題出題している。
- ・ 並べ替えがない。← ラッキー

問 58

〈本文〉

・・・しかし心理学者、生理学者たちはむしろ泣くから悲しく感じるのだ、と主張してきた。



また、人を好きになるときは「気がついたらもう好きになっていた」ということがむしろ多いのではないだろうか。身体の情動反応が先にあり、それが原因になって感情経験が自覚されるという訳だ。「身体の情動反応が感情に先立つ」という話の順序が逆に見えるのは、身体の情動反応が無自覚（不随意的ともいう）であることが多く、・・・・・・。

- 1、とりつくろい → 嫌悪感
- 2、足が反射的に動いて駆け下り → 恐怖
- 3、理性的に装って通り過ぎ → 懐かしさ
- 4、ゴキブリを手が反射的に叩きまくり → 生命の重さを考える
- 5、目を反射的に覆って → 幽霊は存在しないと科学的に考える。